農業センサス結果（平成17年）

農業センサスは、我が国の農業行政に係る諸施策及び農業に関して行う諸統計調査に必要な基礎資料を整理することを目的として、5年ごとに2月1日現在で実施されている。

今回調査対象となった農家は、経営耕地面積が10a以上または調査期日前1年間における農業生産物の総販売額が15万円以上のものである。

4．専業及び兼業農家数

（単位　戸・%）

年次	総農家数	専業	兼業			農家率
			総数	第1種兼業	第2種兼業	
昭和35年	3,005	785	2,220	1,118	1,102	33.3
昭和40年	2,932	490	2,442	1,053	1,389	28.5
昭和45年	2,862	370	2,492	1,080	1,412	25.2
昭和50年	2,725	255	2,470	866	1,604	23.2
昭和55年	2,522	311	2,211	682	1,529	20.8
昭和60年	2,392	265	2,127	475	1,652	19.9
平成　2年	2,002	309	1,693	284	1,409	16.8
平成　7年	1,805	262	1,543	277	1,266	15.2
平成 12年	1,671	249	1,027	175	852	10.5
平成 17年	1,055	258	797	157	640	8.7

（注）農家率＝総農家数÷国勢調査の世帯数×100　　資料：企画課

5．農産物販売金額1位の部門別農家数

計	稲作	麦類作	雑穀・いも類・豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花木	その他の作物	酪農	養豚	養鶏	その他の畜産
1,037	720	74	10	27	7	177	6	12	1	2	—	1	—

（注）販売農家（30a以上かつ50万円以上）のみ集計　　資料：企画課